

# 令和5年度 出資団体評価シート

## 1 基本情報

団体名	(一財)札幌市環境事業公社	所管課	環境事業部総務課
基本財産	40,000千円	記入者	担当 板谷   電話 011-211-2907
設立年月日	平成2年(1990年)4月1日	本市出資額	20,000千円 (出資割合 50.0%)
設立・出資目的	消費活動や事業活動の活発化に伴い、廃棄物が急増し、民間で適正処理することが困難な廃棄物が存在することから、事業者処理責任の原則を崩さずに、事業系廃棄物の適正処理と減量、リサイクルを推進するために設立された。 廃棄物の収集運搬及び再資源化等の処理に関する事業等を行うことにより、清潔で快適な都市環境の確保と資源循環型社会の推進を図り、地域社会の発展と地球環境の保全に寄与することを目的としている。	出資年月日	平成2年(1990年)4月2日
代表者	理事長(常勤) 田中 俊成(市OB)	沿革	平成2年 財団法人札幌市環境事業公社設立 平成6年 事業系ごみ収集運搬事業開始 平成10年 びん・缶・ペットボトル選別事業開始 平成21年 不燃用プリペイド袋リサイクル事業開始 平成24年 一般財団法人(非営利型)に移行
主な出資者	① 札幌市 (50.0%) ② (一社団)札幌建設業協会 (25.0%) ③ (一財)札幌市環境事業公社 (25.0%) ④ ⑤ ⑥	団体所在地	〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目 サン経成ビル内 電話 011-219-5353

## 2 実施事業 (詳細については事業評価シート参照)

(1) [No.] [主要事業名] (該当ページ)	
[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	
① 調査啓発事業(自主事業) (8ページ)	② びん・缶・ペットボトル選別事業(自主・受託事業) (9ページ)
資源の有効活用及び再利用の研究を進めるとともに、リサイクル及び廃棄物の減量等に関する普及啓発に寄与	資源選別センターにおいて、事業系資源物の資源化(自主)、家庭ごみのびん・缶・ペットボトルの選別(受託)
③ ごみ資源化工場ほか施設管理事業(受託事業) (10ページ)	④ 大型ごみ収集センター管理運営事業(受託事業) (11ページ)
事業系ごみのリサイクル促進のため、ごみ固形燃料の生産・供給	大型ごみ戸別有料収集の円滑な業務遂行
⑤ 事業系ごみ収集運搬事業(自主事業) (12ページ)	⑥ 不燃用プリペイド袋リサイクル事業(自主事業) (13ページ)
事業系一般廃棄物の収集運搬許可を有するのは当団体のみであり、廃棄物の安定的かつ継続的な適正処理の維持	本市のごみ埋立地の延命化・資源の有効利用促進を図るため、不燃用プリペイド袋から資源物の選別・再資源化
⑦ 中沼プラスチック・雑がみ選別センター施設管理事業(受託事業) (14ページ)	⑧ 剪定枝等処理事業(自主事業) (15ページ)
中沼プラスチック・雑がみ選別センターを適正に管理し、容器包装プラスチック及びごみのリサイクルを推進	剪定枝などの生木の破砕、チップ化により資源の有効活用に寄与
(2) 総支出に占める事業支出割合	99.2% (主要事業支出合計 7,203,960千円 ÷ 総支出 7,264,483千円)
(3) 主要事業の有効性 (出資・設立目的に対して事業効果は、十分出ているか)	
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
理由	事業系一般廃棄物の収集運搬の他、ごみ資源化工場等5施設の運営管理などを通じ、都市廃棄物の適正処理と減量・リサイクルの推進に大きな役割を果たしている。
(4) 主要事業の質・量 (出資・設立目的の達成のために、必要十分な事業が実施されているか)	
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 実施されている <input type="checkbox"/> 一部見直す必要がある <input type="checkbox"/> 実施されていない
理由	札幌市内の事業所から排出される一般廃棄物及び再生可能品の収集運搬と、分別リサイクルを通じて、事業系廃棄物の適正・効果的な処理、資源化の推進を実現している。また、剪定枝等処理事業に関する調査研究などの調査啓発事業や技術開発に取り組むことで、事業系廃棄物の適正な処理体制の確立に向けた先導的役割を果たしており、廃棄物行政や地域社会へ貢献する十分な事業が実施されている。

## 3 団体職員・構成員等

令和5年4月1日現在(単位:人)

役員	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数	プロパー職員の年齢構成				役員の任期		
	1	1	0	0		9	10歳代	0	40歳代	6	理事	2年
	0	0	0	0			20歳代	3	50歳代	22	監事	4年
			5				30歳代	5	60歳代	0	代表権のある役員 の就任年月	
			2				平均年齢		47.8歳		理事長	R5.6
職員	5	0	10	0	78	副理事長		職員総数の推移(人)				
	7	0	26	30		職員総数の推移(人)		R04.4.1時点	77			
			0			職員総数の推移(人)		R05.4.1時点	78			

#### 4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区分			R3年度決算	R4年度決算	(経常収益比)	(前年比)
財務状況	正味財産増減計算書	経常収益(a)	7,238,624	7,550,261	(100.0%)	(+311,637)
		経常費用(b)	6,847,535	7,264,483		(+416,948)
		うち管理費等(c)	33,774	36,841	(0.5%)	(+3,067)
		うち人件費(d)	458,793	456,920	(6.1%)	(▲1,873)
		当期経常増減額(e)	391,089	285,778		(▲105,311)
	当期正味財産増減額(f)	365,454	189,831		(▲175,623)	
	貸借対照表	資産(g)	4,068,156	4,286,614		(+218,458)
		流動資産(h)	2,806,092	3,120,056		(+313,964)
		固定資産(i)	1,262,064	1,166,558		(▲95,506)
		うち基本財産(j)	40,000	40,000		(0)
		負債(k)	1,628,456	1,657,084		(+28,628)
		流動負債(l)	780,110	800,497		(+20,387)
		固定負債(m)	848,346	856,587		(+8,241)
		正味財産(n)	2,439,700	2,629,530		(+189,830)
借入金残高(o)		0	0		(0)	

#### R4年度決算の概要

区分	当期収入の増減、収支の状況、資産・負債の大幅な変動の要因等
a ・ b ・ e ・ f	<p>経常収益(a)については、事業系ごみ収集運搬事業におけるごみ収集量増により、前年比311百万円余増加した。</p> <p>一方、経常費用(b)については、駒岡資源選別センター外壁改修に起因する修繕費の増加や事業系ごみ収集運搬事業におけるごみ収集量増に起因する処分料の増加等により、前年比416百万円余増加した。</p> <p>以上の結果、当期経常増減額(e)は、前年比105百万円余減の285百万円余、これに当期経常外増減額及び法人税等を差し引きした当期一般正味財産額(f)は、189百万円余となった。</p>
g ・ h ・ i	<p>流動資産(h)は、固定資産(i)が一部資産の除却や減価償却費計上等により、前年比95百万円余減少したものの、当期一般正味財産増減額(e)が285百万円余と良好な決算だったこと等により、前年比313百万円余増加、また資産(g)は218百万円余増加した。</p>
k ・ l ・ m	<p>流動負債(l)は、事業系ごみ収集運搬事業におけるごみ量増に伴う代行料や処分料に係る未払金の増加等に起因し、前年比20百万円余増加、また固定負債(m)は、退職給付引当金の増加等に起因し、前年比8百万円余増加したことにより、負債(k)は28百万円余増加した。</p>

※詳細は、別添の貸借対照表、正味財産増減計算書を参照。

#### 5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区分	R3年度決算	R4年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)
市委託料	1,064,360	1,075,855	(+11,495)
市業務委託料	1,064,360	1,075,855	(+11,495)
うち随意契約	1,064,360	1,075,855	(+11,495)
市指定管理費	0	0	(0)
うち非公募	0	0	(0)
(参考)再委託額	527,483	533,090	(+5,607)
うち市業務委託分	527,483	533,090	(+5,607)
再委託率	(49.6%)	(49.6%)	(▲0.0%)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高	0	0	(0)
損失補償等限度額	0	0	(0)
損失補償契約等に係る債務残高	0	0	(0)
(参考)市施設利用料金収入	0	0	(0)
うち非公募	0	0	(0)

## 6 財務指標に基づく評価

(金額単位：千円)

項目		R3年度	R4年度	(前年比)	評価基準	備考
(1)健全性	剰余金(n-j)	2,399,700	2,589,530	(+189,830)	前年比較増	正味財産-基本財産
	自己資本比率(n÷g)	60.0%	61.3%	(+1.4%)	≥50%	正味財産÷資産
	流動比率(h÷l)	359.7%	389.8%	(+30.1%)	≥150%	流動資産÷流動負債
	固定比率(i÷n)	51.7%	44.4%	(▲7.4%)	≤100%	固定資産÷正味財産
	借入金依存度(o÷g)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	借入金残高÷資産
(2)生産性	職員一人当たり経常収益	94,008千円	96,798千円	(+2,790千円)	前年比較増	経常収益÷職員総数
	人件費率(経常収益比)(d÷a)	6.3%	6.1%	(▲0.3%)	前年比較減	人件費÷経常収益
	職員一人当たり管理費	439千円	472千円	(+34千円)	前年比較減	管理費等÷職員総数
	管理費率(経常収益比)(c÷a)	0.5%	0.5%	(+0.0%)	前年比較減	管理費等÷経常収益
(3)自立性	市依存度(収入)	14.7%	14.2%	(▲0.5%)	前年比較減	市収入(注1)÷経常収益
	市財政的関与割合(収入)	14.7%	14.2%	(▲0.5%)	前年比較減	市収入(注2)÷経常収益

### 健全性の評価

非常に高い
  高い
  概ね健全
  やや低い
  低い

**理由**  
 健全性については、良好な決算内容であったことに起因し、剰余金が前年に引き続き増加、また、自己資本率、流動比率、固定比率は、いずれも評価基準を満たしている。  
 生産性については、職員一人当たり管理費が増加したものの、健全性の評価と同様、良好な決算内容であったことに起因し、職員一人当たり経常収益が前年比増、人件費率が前年比減となっており、概ね評価基準を満たしている。  
 自立性についても、健全性の評価と同様、良好な決算内容であったことに起因し、市依存度及び市財政的関与割合が前年度比減となっており、評価基準を満たしている。  
 これらを総合的に勘案し、「非常に高い」と評価した。

(注1)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料(随意契約分)+市指定管理費(非公募分)+市施設利用料金収入(非公募分)

(注2)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料+市指定管理費+市施設利用料金収入

## 7 「札幌市出資団体の在り方に関する基本方針」に基づく具体的な行動計画の評価

ここでは、具体的な行動計画(※1)で示した取組目標について、年度ごとの指標(※2)の達成状況とその評価を行う。

※1詳細については具体的な行動計画(別冊子)を参照

※2指標の実績値は各年度末時点のもの

### (1)出資・出捐

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考	
No.	指標名						
○出資の見直し検討							
①	市出捐金	目標	20,000千円 (出資比率 50%)	20,000千円 (出資比率 50%)	20,000千円 (出資比率 50%)		
		実績	20,000千円 (出資比率 50%)	20,000千円 (出資比率 50%)	20,000千円 (出資比率 50%)	20,000千円 (出資比率 50%)	
		評価		達成	達成		
②	出資(出捐)の見直し検討	目標		検討調整	検討調整	引き下げ時期決定	
		実績	検討調整	実施	実施		
		評価		達成	達成		
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)							

(2) 人的関与

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○市職員派遣の継続						
①	市派遣職員数	目標		1人	1人	1人
		実績	1人	1人	1人	
		評価		達成	達成	
②	市職員の評議員への就任数	目標		1人	1人	1人
		実績	1人	1人	1人	
		評価		達成	達成	
③	市職員の役員への就任数	目標		2人	2人	2人
		実績	2人	2人	2人	
		評価		達成	達成	
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

(3) 団体の活用

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○団体の保有施設の活用による業務の安定的な実施						
①	ペットボトル品質評価ランク	目標		中沼A・駒岡A	中沼A・駒岡A	中沼A・駒岡A
		実績	中沼A・駒岡A	中沼A・駒岡A	中沼A・駒岡A	
		評価		達成	達成	
②	資源選別センター見学者数	目標		300人 (+11%)	1,000人 (+333%)	2,000人 (+100%)
		実績	270人 (前年度比)	287人	0人	
		評価		未達成	未達成	
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和4年度は1年を通して施設見学を中止とした。令和5年5月8日から札幌市のごみ処理施設の見学が再開したので、資源選別センターも同様に再開し、見学者数の回復を目指す。						

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○事業系ごみ等の適正処理						
①	事業系ごみ等の適正で効率的な処理	目標		継続	継続	継続
		実績	実施	実施	実施	
		評価		達成	達成	
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○調査研究・普及啓発活動の継続的な取組み						
①	調査研究の実施（リサイクル技術の調査研究等）	目標		継続	継続	継続
		実績	実施	実施	実施	
		評価		達成	達成	
②	啓発資料の配布数 (市内全小学4年生対象)	目標		約17,000部	約16,000部	約16,000部
		実績	16,918部	16,534部	15,920部	
		評価		達成	達成	
③	啓発ポスターの掲示車両台数	目標		10台	12台	14台
		実績	8台	10台	12台	
		評価		達成	達成	
④	事業者等への啓発活動の実施（HPアクセス件数）	目標		80,000件	80,400件	80,800件
		実績	78,914件	96,487件	110,834件	
		評価		達成	達成	
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

#### (4) 更なる経営の安定化

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○資源選別施設の計画的な施設保全の実施						
①	計画稼働日数の達成率	目標		100%	100%	100%
		実績	100%	100%	100%	
		評価		達成	達成	
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○事業系ごみ収集運搬の効率化						
①	申込者に対するガイドラインの周知徹底	目標		継続	継続	継続
		実績	実施	実施	実施	
		評価		達成	達成	
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

#### (5) 団体統制

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○適正管理の継続						
①	内部監査の継続実施	目標		継続	継続	継続
		実績	継続	継続	継続	
		評価		達成	達成	
②	外部監査の継続実施	目標		継続	継続	継続
		実績	継続	継続	継続	
		評価		達成	達成	
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

(6) 札幌市の施策との連動

○取組目標		現状値	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	備考
No.	指標名	(R 2 年度)				
○知的障がい者の就労機会の確保等						
①	障害者就労施設からの委託業務及び物品等発注件数・金額	目標	/	4件 200,000円	4件 200,000円	4件 200,000円
		実績	6件 291,634円	7件 303,277円	11件 371,760円	
		評価	/	達成	達成	
②	障がいのある方の雇用人数	目標	/	1人 (法定1)	1人 (法定1)	1人 (法定1)
		実績	0人 (法定1)	0人 (法定1)	0人 (法定1)	
		評価	/	未達成	未達成	
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						
②令和2年9月末に障がいのある方が退職。以降応募がなく、雇用ができていない状態にある。長期的視点に立った従事業務、労働環境等の検討が重要となってくることから、今後に向けた総合的な職員配置の一環として検討を行っている。						

○取組目標		現状値	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	備考
No.	指標名	(R 2 年度)				
○家庭系一時多量ごみの収集体制の再構築						
①	一時多量ごみの収集申込に対する実収集率	目標	/	100%	100%	100%
		実績	100%	100%	100%	
		評価	/	達成	達成	
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

8 情報公開等の状況

ホームページ公開情報	
ホームページアドレス	<a href="https://www.kankyousapporo.jp/">https://www.kankyousapporo.jp/</a>
Eメールアドレス	<a href="mailto:swmrf@kankyousapporo.jp">swmrf@kankyousapporo.jp</a>
<p>【経営状況等】</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 定款      <input checked="" type="checkbox"/> 役員名簿      <input checked="" type="checkbox"/> 団体機構図      <input checked="" type="checkbox"/> 事業計画書      <input checked="" type="checkbox"/> 予算書  <input checked="" type="checkbox"/> 事業報告書      <input checked="" type="checkbox"/> 決算書      <input type="checkbox"/> 中長期的な経営計画         </p> <p>【事業情報等】</p> <p> <input type="checkbox"/> 実施事業（イベント）情報      <input type="checkbox"/> 管理施設情報  <input checked="" type="checkbox"/> その他（ごみの適切な排出方法、ごみの収集日の変更、採用情報、入札情報など）         </p>	
ホームページ以外の情報媒体	
広報誌・冊子の発行	なし

※特記ない限り、本評価シート内の情報は令和5年7月1日現在のものです。

# 事業評価 ( 1 ) 調査啓発事業 (自主事業)

1. 事業概要	事業所管課： 環境局環境事業部総務課	担当： 板谷	電話： 211-2907
(1)事業内容	(1)調査研究事業 ①粉砕機ハンマーに関する調査研究 ②剪定枝等の受入状況調査 ③事業系紙おむつのリサイクルに関する調査  (2)普及啓発活動 ①広報活動 (事業概要の発行・配布、キッズパンフレットの提供他) ②各種イベントへの参加・協賛等 (環境広場さっぽろ2022への出展、さっぽろこども環境コンテスト2022への協賛)		
(2)事業目的	調査研究事業：廃棄物の「減量」「資源化」「事業の効率化」を推進するため、資源の有効活用及び再利用の研究を進めることを目的とする。 普及啓発活動：廃棄物の減量リサイクルの重要性を、市民・顧客に広くPRすることを目的とする。		
(3)事業開始	平成2年(1990年) 4月1日		

## 2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		0	0	(0)
		( 0.0 % )	( 0.0 % )		
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入 (補助金除く)	0	0	(0)	
	その他収入	0	0	(0)	
	費用 (支出)	40,277	47,981	(+7,704)	
	事業費	40,078	47,738	(+7,660)	
	管理費等	199	243	(+44)	
	収支差	▲ 40,277	▲ 47,981	(▲ 7,704)	
	収支比率	0.00%	0.00%	(0)	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	イベントへの参加	1回	1回	1回	1回
②	「キッズパンフレット」の小学生への配布数	16,534部	約16,000部	15,920部	約16,000部
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	ホームページアクセス件数	96,487件	80,400件	110,834件	80,800件
②	「啓発ポスター」の応募参加者数	204人	100人	145人	100人
③					
④					
⑤					
⑥					

## 3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない  調査研究事業では、「資源の有効活用及び再利用の研究」として剪定枝処理事業に関する調査研究に取り組み、事業目的である廃棄物の「減量」「資源化」「事業の効率化」を推進しているほか、普及啓発活動では、イベントへの参加や協賛等を通じ、廃棄物の減量リサイクルの重要性を市民・顧客に広くPRしており、事業効果は十分に出ていると評価できる。 例年行っていた啓発ポスターをごみ収集車の車体側面に掲示する「走る掲示板」の啓発活動については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため小学校が休校になった影響で、令和2年度から中止していたが、令和4年度は教育委員会及び対象校との連絡を密にし、実施することができている。 ホームページアクセス数については、平成30年度から段階的に「WEBサポート機能」を充実させたことで大きく増加しており、取り組みの効果が評価できる。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善  当該事業は、事業内容が「調査研究」及び「普及啓発」であることから直接的な事業収入は発生せず事業収益は赤字であるが、事業目的に対する事業効果は十分出ていること、公社全体の収支状況が概ね良好であることを踏まえると、事業規模は適切であり良好と評価できる。

## 事業評価 ( 2 ) びん・缶・ペットボトル選別事業

1. 事業概要	事業所管課： 環境局環境事業部循環型社会推進課	担当： 原	電話： 011-211-2928
(1)事業内容	<p>本市がごみステーションで混合収集する家庭系資源物（びん・缶・ペットボトル）、及び公社が収集する事業系資源物を、品目ごとに分類、異物除去等の選別を実施し、圧縮・梱包等して一時保管したのち、指定法人やリサイクル事業者への売却・引渡しを実施する。</p> <p>家庭系資源物については、容器包装リサイクル法に基づき本市が実施する容器包装廃棄物の分別・圧縮・梱包・保管業務に係る受託事業として、事業系資源物については、公社の自主事業として実施している。</p> <p>また、令和3年10月から、本市が家庭系資源物と同日に別袋収集する筒型乾電池の選別・梱包・保管業務をあわせて実施している。</p> <p>【市の関連事業名】 びん・缶・ペットボトル等選別事業</p>		市委託料(随意契約) 881,100
(2)事業目的	家庭系及び事業系廃棄物の減量、適正処理、及び資源の有効利用の確保を図るため。		
(3)事業開始	平成10年(1998年) 10月1日		

### 2. 実施結果

(1) 事業収支 (単位 千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		869,000	881,100	(+12,100)
	( 12.0% )	( 11.7% )			
	市補助金・交付金・負担金			(0)	
	市業務委託料	869,000	881,100	(+12,100)	
	市指定管理費			(0)	
	市施設利用料金収入			(0)	
	自主事業収入(補助金除く)			(0)	
	その他収入			(0)	
	費用(支出)	929,742	1,033,150	(+103,408)	
	事業費	925,156	1,027,910	(+102,754)	
	管理費等	4,586	5,240	(+654)	
	収支差	▲ 60,742	▲ 152,050	(▲ 91,308)	
	収支比率	93.47%	85.28%	(▲ 8.18%)	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	選別処理量	36,638t	35,660t	36,086t	35,290t
②	選別処理率	100%	100%	100%	100%
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	ペットボトル品質調査結果	中沼：A 駒岡：A	中沼：A 駒岡：A	中沼：A 駒岡：A	中沼：A 駒岡：A
②	※上記評価はA・B・Dの3ランクで評価され、Aの場合は引取りを継続、Bの場合は品質向上の要請があるが引取りを継続、Dの場合は当面の引取りは継続するが、改善計画書の提出及び実施を求められることがある。				
③					
④					
⑤					

### 3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	搬入物の選別処理率は100%を維持しており、また、ペットボトル品質評価は両施設ともにAランクであり、指定法人やリサイクル事業者への円滑な引き渡しが行われていることから、適切な業務遂行のもと、廃棄物の適正処理及び資源の有効活用に対し、一定の成果を上げることができていると認められるが、より一層の合理的かつ効率的な再資源化のため、更なる品質の向上を目指す必要がある。
(2) 収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	施設の経年劣化により、設備・機械等の点検・修繕の費用が増加することが見込まれるため、可能な限り事業費の縮減を進める必要がある。



## 事業評価 ( 3 ) ごみ資源化工場ほか施設管理事業 (受託事業)

1. 事業概要	事業所管課： 環境局環境事業部白石清掃工場	担当： 岩田	電話： 011-211-2922
(1)事業内容	<p>札幌市ごみ資源化工場（燃料工場）は、紙くず・木くず・廃プラスチック（塩ビを除く軟質プラスチック）等の資源化ごみを原料とし、固形燃料（RDF）として再生する施設であり、当団体は、この施設等を適正に運営するため、総括的な施設管理を実施している。</p> <p>【市の関連事業名】 ごみ資源化工場ほか施設管理事業</p>		
(2)事業目的	ごみ資源化工場等を適正に管理し、紙くずや木くずなどの事業系ごみを固形燃料化するリサイクルを推進する。		
(3)事業開始	平成2年(1990年)		

市委託料(随意契約) 85,140

### 2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		83,600	81,400	(▲ 2,200)
	( )	( 1.2 % )	( 1.1 % )		
	市補助金・交付金・負担金			(0)	
	市業務委託料	83,600	81,400	(▲ 2,200)	
	市指定管理費			(0)	
	市施設利用料金収入			(0)	
	自主事業収入(補助金除く)			(0)	
	その他収入			(0)	
	費用(支出)	76,682	73,221	(▲ 3,461)	
	事業費	76,304	72,850	(▲ 3,454)	
	管理費等	378	371	(▲ 7)	
	収支差	6,918	8,179	(+1,261)	
	収支比率	109.02%	111.17%	(+2.15%)	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	機器故障等による資源化ごみの受け入れ停止	0回	0回	0回	0回
②	機器停止等による資源化工場運転停止	0回	0回	0回	0回
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	固形燃料生産量 (t/年)	12,038	13,000	12,468	12,000
②	二酸化炭素削減量 (t/年)	12,642	13,000	12,688	13,000
③					
④					
⑤					
⑥					

### 3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	<p>総括的な施設管理を適切に行ったことで、事業系の木くず、紙くず等を単に焼却することなく、バイオマス燃料としてリサイクルし、清掃工場の負荷軽減に貢献するとともに、この燃料の利用により化石燃料の使用量が抑制され、二酸化炭素排出量の削減が図られた。</p>
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	<p>適切な人員管理と経験の蓄積により効率的に業務を遂行した。</p>

# 事業評価 ( 4 ) 大型ごみ収集センター管理運営事業 (受託事業)

1. 事業概要	事業所管課： 環境局環境事業部業務課	担当： 石島	電話： 011-211-2916
(1)事業内容	<p><b>【概要】</b>                  大型ごみ収集は、年間50万件前後の申込みを電話受付業務受託者が電話受付、年間80万個前後の大型ごみを収集業務受託者が個別に収集している。大型ごみ収集センター管理運営事業は、受付から収集までの一連の作業円滑に行われるよう管理することを目的としており、電話受付業務受託者・収集業務受託者の他、業務課及び各清掃事務所における大型ごみ収集に関する総合的な調整及び苦情・問い合わせ等の対応を担っている。</p> <p><b>【業務内容】</b>                  本事業の契約業務内容は以下のとおり                  ・市と電話受付業務受託者との連絡・調整業務                  ・収集業務受託者の業務管理、指導及び本市等関係機関との連絡調整                  ・市民からの苦情、問い合わせ対応                  ・大型ごみ収集に係る集計、統計資料作成                  ・受付システム登録情報の管理業務</p> <p><b>【市の関連事業名】</b>                  大型ごみ収集センター管理運営事業</p>		
(2)事業目的	市・電話受付業務受託者・収集業務受託者と連絡・調整を図り、大型ごみの受付から収集までの一連の作業を円滑に迅速に行うことを目的としている。		
(3)事業開始	平成11年(1999年)		

## 2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		21,450	22,055	(+605)
		( 0.3 % )	( 0.3 % )		
	市補助金・交付金・負担金			(0)	
	市業務委託料	21,450	22,055	(+605)	
	市指定管理費			(0)	
	市施設利用料金収入			(0)	
	自主事業収入(補助金除く)			(0)	
	その他収入			(0)	
費用(支出)		27,434	33,271	(+5,837)	
	事業費	27,299	33,102	(+5,803)	
	管理費等	135	169	(+34)	
収支差		▲ 5,984	▲ 11,216	(▲ 5,232)	
収支比率		78.19%	66.29%	(▲ 11.90%)	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	苦情等処理件数	3,144件	目標値なし	3,028件	目標値なし
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	大型ごみ収集センター受付応答率(受付数/入電数)	83.2%	85%以上	83.9%	85%以上
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

## 3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない 年間50万件前後に及ぶ大型ごみ収集センターの受信内容には、大型ごみの新規申し込みや申込内容の変更・キャンセルなどの他、収集時のトラブルや苦情や清掃事業全般に係る問い合わせ等が広く寄せられる。 令和4年度においては、令和3年度に引き続いて入電数の増加が見られ、例年50万件前後で推移していた年間入電数が60万件を超えるなど、予想を上回る入電があり、受付応答率85%を達成するには至らなかった。 しかしながら、このような状況にあつて、電話受付業務受託者が限られた回線で効率的かつ迅速に受付業務を遂行することが出来るよう、例外的又は回答困難な問い合わせ・クレーム等があった場合は、管理運営業務受託者が速やかに引継ぎ対応しており、大型ごみ収集に係る一連の作業の円滑な遂行について、十分な効果が出ているものと認められる。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善 適切な人員配置の検討や事務的経費の削減等により、収支状況の改善に努める必要がある。

## 事業評価 ( 5 ) 事業系ごみ収集運搬事業 (自主事業)

1. 事業概要	事業所管課：環境局環境事業部事業廃棄物課	担当：佐藤（隆）	電話：011-211-2927
(1)事業内容	①事業系ごみ、②家庭系の一時的多量ごみ、③家庭系廃棄パソコンの収集運搬 ・市内全域約34,000事業所のごみを、許可を受けた収集車両で収集している。 ・「資源化ごみ(紙くずなど)」「びん・缶・ペットボトル」「生ごみ」「剪定枝」の分別収集を実施 ・1日排出量40リットル以下の少量排出事業所(約24,000)は、専用のプリペイド袋で収集 ・すすきの早朝収集の実施(カラス等被害の防止) ・収集車両は約200台が許可登録されている。		
(2)事業目的	札幌市内の事業所から排出される一般廃棄物及び再生可能品(びん・缶・ペットボトル)の適正な収集運搬を行い、併せて分別リサイクルを推進するとともに、家庭から排出される引越し時等一時多量ごみの収集運搬など市の収集体制を補完する。		
(3)事業開始	平成6年(1994年)4月1日		

### 2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		6,094,345 ( 84.2% )	6,399,121 ( 84.8% )	( +304,776 )
事業 収 支 (単 位 千 円)	市補助金・交付金・負担金			( 0 )	
	市業務委託料			( 0 )	
	市指定管理費			( 0 )	
	市施設利用料金収入			( 0 )	
	自主事業収入(補助金除く)	6,094,345	6,399,121	( +304,776 )	
	その他収入			( 0 )	
	費用(支出)	5,566,145	5,865,414	( +299,269 )	
事業費	5,538,691	5,835,668	( +296,977 )		
管理費等	27,454	29,746	( +2,292 )		
収支差	528,200	533,707	( +5,507 )		
収支比率	109.49%	109.10%	( ▲ 0.39% )		
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	収集量(重量)	146,713t	147,660t	154,089t	152,700t
②	収集量(体積)	950,440m <sup>3</sup>	925,480m <sup>3</sup>	1,006,211m <sup>3</sup>	976,100m <sup>3</sup>
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	事業系ごみのリサイクル率	18.2%	18.5%	17.5%	17.8%
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

### 3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない 市内全域の事業所から出る一般廃棄物を一元的に収集・運搬することで、分別収集が徹底されている。 また、専用プリペイド袋による収集は、少量排出事業所に対するきめ細かな対応を可能とし、事業系一般廃棄物の適正排出を確保している。 収集量は前年度と比較して体積ベースで5.9%増となり、リサイクルごみの収集量も2.0%増となったものの、収集量全体のうちリサイクルごみ以外の一般ごみの割合が多くなったため、リサイクル率は前年度と比較して0.7%の減となった。今後とも、多分別収集体制を継続させることで、一定のリサイクル率を確保し、廃棄物のリサイクルを通じた資源の有効活用に努める必要がある。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善 顧客の排出量に合わせて伝票収集とプリペイド袋による収集を実施するなど、継続的に効率的な収集運搬を行っており、現時点での収支状況は良好である。しかしながら、多様な排出ニーズに今後も対応していくなかで、将来的に支出が増加し、収支状況に影響が出ることも思慮される。

## 事業評価 ( 6 ) 不燃用プリペイド袋リサイクル事業 (自主事業)

1. 事業概要	事業所管課： 環境局環境事業部事業廃棄物課	担当： 佐藤 (隆)	電話： 011-211-2927
(1)事業内容	少量排出事業所から不燃用プリペイド袋で排出される不燃ごみから「びん・缶・ペットボトル」等の資源物を手選別しリサイクルを推進する事業を実施している。		
(2)事業目的	札幌市のごみ埋立地の延命化、資源の有効利用促進を図るため、可能な限り市内排出事業者から収集する事業系一般廃棄物の選別・再資源化に努める。		
(3)事業開始	平成21年(2009年) 4月1日		

### 2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		2,819	2,937	(+118)
	市補助金・交付金・負担金	( 0.0 % )	( 0.0 % )	(0)	
	市業務委託料			(0)	
	市指定管理費			(0)	
	市施設利用料金収入			(0)	
	自主事業収入 (補助金除く)	2,819	2,937	(+118)	
	その他収入			(0)	
費用 (支出)		62,371	63,296	(+925)	
	事業費	62,063	62,975	(+912)	
	管理費等	308	321	(+13)	
収支差		▲ 59,552	▲ 60,359	(▲ 807)	
収支比率		4.52%	4.64%	(+0.12%)	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	処理量	1,948t	2,000t	2,124 t	2,100 t
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	総搬出量に対する資源物搬出量の割合	34.3%	30.0%	35.6%	30.0%
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

### 3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	<p>少量排出事業所において排出される不燃ごみから、びん・缶・ペットボトル、金属類、軟質プラスチック等の資源物を選別し、リサイクルすることで、事業系ごみの減量化と資源の有効利用、埋立地の延命化に貢献している。</p> <p>近年は排出者のリサイクル意識が向上し、ごみの分別が進んできたことから、不燃用プリペイド袋による排出自体が減少傾向となっており、混入している資源物の量も減少傾向となっているが、選別作業の精度向上の取組などにより、選別される資源物の割合は目標を上回っている。</p>
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	収支については公益目的支出であり、支出計画どおりに進んでいる。

事業評価 ( 7 ) 中沼プラスチック・雑がみ選別センター施設管理事業 (受託業務)

1. 事業概要	事業所管課： 環境局環境事業部施設管理課	担当： 和田	電話： 011-211-2922
(1)事業内容	<p>中沼プラスチック選別センターは、容器包装リサイクル法に基づき一般家庭から排出されたプラスチックごみから、国が定める分別基準に適合するよう不適物を取り除く施設（市施設）である。選別後の資源は、指定法人に引き渡され、再商品化事業者によりリサイクルされる。</p> <p>中沼雑がみ選別センターは、「スリムシティさっぽろ計画」に基づき、一般家庭から排出された雑がみから、製紙原料に適合するよう不適物を取り除く施設（市施設）である。選別後の資源は、製紙原料として製紙会社等に売却している。また、取除いた不適物は、固形燃料の原料として資源化している。</p> <p>上記2施設は隣接しており、類似の業務であることから、施設を適正に運営するため、当団体が総括的な施設管理を実施している。</p> <p>【市の関連事業名】                  中沼プラスチック選別センター施設管理事業                  中沼雑がみ選別センター施設管理事業</p>		市委託料(随意契約) 64,900
(2)事業目的	市の中沼プラスチック選別センター及び中沼雑がみ選別センターを適正に管理し、市が分別収集した資源のリサイクルを推進する。		
(3)事業開始	平成12年(2000年)7月(プラスチック)、平成21(2009)年7月(雑がみ)		

2. 実施結果

(1) 事業収支 (単位: 千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		64,900	64,350	(▲ 550)
	( ) ( 0.9% ) ( 0.9% )				
	市補助金・交付金・負担金			(0)	
	市業務委託料	64,900	64,350	(▲ 550)	
	市指定管理費			(0)	
	市施設利用料金収入			(0)	
	自主事業収入(補助金除く)			(0)	
	その他収入			(0)	
費用(支出)		64,553	64,530	(▲ 23)	
	事業費	64,235	64,203	(▲ 32)	
	管理費等	318	327	(+9)	
収支差		347	▲ 180	(▲ 527)	
収支比率		100.54%	99.72%	(▲ 0.82%)	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	機器故障等による容器包装プラスチックの受入停止	0回	0回	0回	0回
②	機器故障等によるプラスチック選別施設の稼働停止	0回	0回	0回	0回
③	機器故障等による雑がみの受入停止	0回	0回	0回	0回
④	機器故障等による雑がみ選別施設の稼働停止	1回	0回	0回	0回
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	容器包装プラスチックの受入量	30,916t	30,300t	31,234t	30,500t
②	プラスチックペールの品質評価ランク	A	A	A	A
③	雑がみの受入量	8,772t	10,480t	9,077t	9,200t
④	製紙原料率	76%	82%	74%	79%
⑤	RDF原料率	20%	18%	20%	20%
⑥					

3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない  両施設ともに受入停止を伴うような大きな運転上の支障はなく、適正な保守管理を行った。プラスチック選別センターにおいては、近年、モバイルバッテリーが使用された電子機器の混入に起因する発火・発煙が発生していることを受け、消防機能の向上のために、令和2～3年度に、屋内消火栓の増設等の工事を行った。 受入量については、近年、両施設で増加傾向にあるが、いずれの施設も適正な処理により良好な品質を維持しながら、計画どおりリサイクルを推進している。
(2) 収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善  委託料に対し適切な人員管理と経験の蓄積により効率的に業務を遂行した。

## 事業評価 ( 8 ) 剪定枝等処理事業 (自主事業)

1. 事業概要	事業所管課： 環境局環境事業部事業廃棄物課	担当： 佐藤 (隆)	電話： 011-211-2927
(1)事業内容	剪定枝等リサイクル施設 (篠路資源化工場内) において、剪定枝などの生木をチップ化して、堆肥の材料、燃料用チップなどへのリサイクル事業を実施している。		
(2)事業目的	剪定枝などの生木を破砕し、チップ化することにより、資源の有効活用に寄与する。		
(3)事業開始	平成20年(2008年) 10月 1日		

### 2. 実施結果

(1) 事業収支 (単位 千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		73,431	69,009	(▲ 4,422)
		( 1.0 % )	( 0.9 % )		
	市補助金・交付金・負担金			(0)	
	市業務委託料			(0)	
	市指定管理費			(0)	
	市施設利用料金収入			(0)	
	自主事業収入 (補助金除く)	73,431	69,009	(▲ 4,422)	
	その他収入			(0)	
	費用 (支出)	54,411	56,368	(+1,957)	
	事業費	54,143	56,082	(+1,939)	
	管理費等	268	286	(+18)	
	収支差	19,020	12,641	(▲ 6,379)	
	収支比率	134.96%	122.43%	(▲ 12.53%)	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	処理量	6,074 t	6,000 t	5,743 t	4,300 t
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	処理において資源化できた割合	100%	100%	100%	100%
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

### 3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	剪定枝や伐採木などの生木を破砕・チップ化し、堆肥製造業者などに出荷することで、事業系一般廃棄物の減量が促進されるだけでなく、木質資源の有効活用や埋立地の延命化に貢献している。
(2) 収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	現時点では継続して利益が計上できている。しかしながら、安定的に事業運営を行うためには、受入量を一定的に確保し、チップ供給の安定化を図り、より一層のチップの販路開拓に努める必要がある。

# 貸借対照表

(一財)札幌市環境事業公社

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度 (a)	前 年 度 (b)	増 減 (a-b)
<b>【資産の部】</b>			
<b>I. 流動資産</b>			
現金預金	2,285,982,923	2,052,609,223	233,373,700
貯蔵品	24,261,973	14,515,296	9,746,677
前払費用	1,789,365	687,405	1,101,960
未収入金	811,945,039	742,060,353	69,884,686
預け金	4,000	4,000	0
貸倒引当金	△ 3,927,406	△ 3,784,697	△ 142,709
<b>流動資産合計</b>	<b>3,120,055,894</b>	<b>2,806,091,580</b>	<b>313,964,314</b>
<b>II. 固定資産</b>			
<b>1. 基本財産</b>			
基本財産引当預金	40,000,000	40,000,000	0
<b>基本財産合計</b>	<b>40,000,000</b>	<b>40,000,000</b>	<b>0</b>
<b>2. 特定資産</b>			
退職給付引当預金	97,094,520	89,821,550	7,272,970
<b>特定資産合計</b>	<b>97,094,520</b>	<b>89,821,550</b>	<b>7,272,970</b>
<b>3. その他固定資産</b>			
建物	715,634,653	795,941,529	△ 80,306,876
建物附属設備	64,474,534	69,692,548	△ 5,218,014
構築物	82,690,731	89,778,231	△ 7,087,500
機械装置	78,955,233	100,113,625	△ 21,158,392
車両運搬具	5,993,258	11,986,511	△ 5,993,253
工具器具備品	11,146,785	10,768,110	378,675
ソフトウェア	24,948,979	22,662,979	2,286,000
ソフトウェア仮勘定	3,762,000	5,665,000	△ 1,903,000
長期前払費用	4,658,335	916,270	3,742,065
繰延税金資産	37,199,409	24,717,698	12,481,711
<b>その他固定資産合計</b>	<b>1,029,463,917</b>	<b>1,132,242,501</b>	<b>△ 102,778,584</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>1,166,558,437</b>	<b>1,262,064,051</b>	<b>△ 95,505,614</b>
<b>資産合計</b>	<b>4,286,614,331</b>	<b>4,068,155,631</b>	<b>218,458,700</b>
<b>【負債の部】</b>			
<b>I. 流動負債</b>			
未払金	562,462,344	533,031,969	29,430,375
前受金	79,196,216	73,025,480	6,170,736
預り金	1,957,921	2,129,611	△ 171,690
未払消費税等	15,579,300	22,036,200	△ 6,456,900
未払法人税等	108,402,400	117,855,200	△ 9,452,800
一年以内リース債務	2,230,700	2,765,162	△ 534,462
賞与引当金	30,668,327	29,266,931	1,401,396
<b>流動負債合計</b>	<b>800,497,208</b>	<b>780,110,553</b>	<b>20,386,655</b>
<b>II. 固定負債</b>			
リース債務	5,628,338	7,859,038	△ 2,230,700
退職給付引当金	97,094,520	89,821,550	7,272,970
資産除去債務	753,864,067	750,665,307	3,198,760
<b>固定負債合計</b>	<b>856,586,925</b>	<b>848,345,895</b>	<b>8,241,030</b>
<b>負債合計</b>	<b>1,657,084,133</b>	<b>1,628,456,448</b>	<b>28,627,685</b>
<b>【正味財産の部】</b>			
<b>I. 指定正味財産</b>			
寄附金	30,000,000	30,000,000	0
<b>指定正味財産合計</b>	<b>30,000,000</b>	<b>30,000,000</b>	<b>0</b>
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
<b>II. 一般正味財産</b>	2,599,530,198	2,409,699,183	189,831,015
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
<b>正味財産合計</b>	<b>2,629,530,198</b>	<b>2,439,699,183</b>	<b>189,831,015</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>4,286,614,331</b>	<b>4,068,155,631</b>	<b>218,458,700</b>

# 貸借対照表内訳表

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	内部取引 等消去	合 計
<b>【資産の部】</b>					
<b>I. 流動資産</b>					
現金預金	0	0	2,285,982,923	0	2,285,982,923
貯蔵品	1,865,414	22,396,559	0	0	24,261,973
前払費用	0	1,701,480	87,885	0	1,789,365
未収入金	212,784	809,004,255	2,728,000	0	811,945,039
預け金	0	3,500	500	0	4,000
貸倒引当金	0	△ 3,927,406	0	0	△ 3,927,406
<b>流動資産合計</b>	<b>2,078,198</b>	<b>829,178,388</b>	<b>2,288,799,308</b>	<b>0</b>	<b>3,120,055,894</b>
<b>II. 固定資産</b>					
<b>1. 基本財産</b>					
基本財産引当預金	0	0	40,000,000	0	40,000,000
<b>基本財産合計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>40,000,000</b>	<b>0</b>	<b>40,000,000</b>
<b>2. 特定資産</b>					
退職給付引当預金	0	0	97,094,520	0	97,094,520
<b>特定資産合計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>97,094,520</b>	<b>0</b>	<b>97,094,520</b>
<b>3. その他固定資産</b>					
建物	0	715,634,653	0	0	715,634,653
建物附属設備	406,168	62,940,736	1,127,630	0	64,474,534
構築物	0	82,690,731	0	0	82,690,731
機械装置	2	78,955,231	0	0	78,955,233
車両運搬具	0	5,993,258	0	0	5,993,258
工具器具備品	5	10,869,911	276,869	0	11,146,785
ソフトウェア	0	24,861,463	87,516	0	24,948,979
ソフトウェア仮勘定	0	3,762,000	0	0	3,762,000
長期前払費用	0	4,576,000	82,335	0	4,658,335
繰延税金資産	0	0	37,199,409	0	37,199,409
<b>その他固定資産合計</b>	<b>406,175</b>	<b>990,283,983</b>	<b>38,773,759</b>	<b>0</b>	<b>1,029,463,917</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>406,175</b>	<b>990,283,983</b>	<b>175,868,279</b>	<b>0</b>	<b>1,166,558,437</b>
<b>資産合計</b>	<b>2,484,373</b>	<b>1,819,462,371</b>	<b>2,464,667,587</b>	<b>0</b>	<b>4,286,614,331</b>
<b>【負債の部】</b>					
<b>I. 流動負債</b>					
未払金	5,047,830	555,882,788	1,531,726	0	562,462,344
前受金	0	79,196,216	0	0	79,196,216
預り金	0	0	1,957,921	0	1,957,921
未払消費税等	0	15,579,300	0	0	15,579,300
未払法人税等	0	0	108,402,400	0	108,402,400
一年以上リース債務	0	2,230,700	0	0	2,230,700
賞与引当金	1,860,216	24,667,326	4,140,785	0	30,668,327
<b>流動負債合計</b>	<b>6,908,046</b>	<b>677,556,330</b>	<b>116,032,832</b>	<b>0</b>	<b>800,497,208</b>
<b>II. 固定負債</b>					
リース債務	0	5,628,338	0	0	5,628,338
退職給付引当金	8,179,654	78,620,656	10,294,210	0	97,094,520
資産除去債務	7,011,322	745,486,995	1,365,750	0	753,864,067
<b>固定負債合計</b>	<b>15,190,976</b>	<b>829,735,989</b>	<b>11,659,960</b>	<b>0</b>	<b>856,586,925</b>
<b>負債合計</b>	<b>22,099,022</b>	<b>1,507,292,319</b>	<b>127,692,792</b>	<b>0</b>	<b>1,657,084,133</b>
<b>【正味財産の部】</b>					
<b>I. 指定正味財産</b>					
寄附金	0	0	30,000,000	0	30,000,000
<b>指定正味財産合計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>30,000,000</b>	<b>0</b>	<b>30,000,000</b>
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(30,000,000)	(0)	(30,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
<b>II. 一般正味財産</b>	△ 19,614,649	312,170,052	2,306,974,795	0	2,599,530,198
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(10,000,000)	(0)	(10,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
<b>正味財産合計</b>	<b>△ 19,614,649</b>	<b>312,170,052</b>	<b>2,336,974,795</b>	<b>0</b>	<b>2,629,530,198</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>2,484,373</b>	<b>1,819,462,371</b>	<b>2,464,667,587</b>	<b>0</b>	<b>4,286,614,331</b>



# 正味財産増減計算書

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

(単位:円)

	科 目	当 年 度 (a)	前 年 度 (b)	増 減(a)-(b)
1	I 一般正味財産増減の部			
2	1. 経常増減の部			
3	(1) 経常収益			
4	① 基本財産運用益	0	0	0
5	基本財産受取利息	0	0	0
6	② 特定資産運用益	0	0	0
7	特定資産受取利息	0	0	0
8	③ 事業収益	7,546,921,264	7,234,954,625	311,966,639
9	1 不燃用プラスチック袋リサイクル事業収益	2,936,515	2,818,552	117,963
10	2 剪定枝等処理事業収益	69,008,544	73,431,344	△ 4,422,800
11	3 びん・缶・ペットボトル選別事業収益	881,100,000	869,000,000	12,100,000
12	4 施設管理受託事業収益	172,700,000	173,910,000	△ 1,210,000
13	ごみ資源化工場施設管理事業収益	81,400,000	83,600,000	△ 2,200,000
14	中沼プラスチック選別センター施設管理事業収益	39,575,280	39,589,000	△ 13,720
15	中沼雑がみ選別センター施設管理事業収益	24,774,720	25,311,000	△ 536,280
16	札幌市リサイクル団地管理事業収益	26,950,000	25,410,000	1,540,000
17	5 大型ごみ収集センター管理運営事業収益	22,055,000	21,450,000	605,000
18	6 事業系ごみ収集運搬事業収益	6,399,121,205	6,094,344,729	304,776,476
19	収集運搬事業収益	6,355,810,727	6,076,189,473	279,621,254
20	分別収集有価物売却収益	43,310,478	18,155,256	25,155,222
21	④ 雑収益	3,339,620	3,669,618	△ 329,998
22	雑収益	3,339,620	3,669,618	△ 329,998
23	経 常 収 益 計	7,550,260,884	7,238,624,243	311,636,641
24	(2) 経常費用			
25	① 事業費	7,227,641,697	6,813,760,779	413,880,918
26	役員報酬	3,424,052	3,377,240	46,812
27	給料手当	347,996,672	351,542,840	△ 3,546,168
28	退職給付費用	7,112,482	6,548,901	563,581
29	賞与引当金繰入額	30,137,478	28,748,090	1,389,388
30	法定福利費	60,235,413	59,933,579	301,834
31	福利厚生費	11,438,069	12,019,638	△ 581,569
32	消耗品費	39,814,463	35,471,687	4,342,776
33	処分料	2,911,615,377	2,768,872,356	142,743,021
34	プリペイド袋製作費	60,351,594	50,652,174	9,699,420
35	機械部品費	16,833,822	9,979,004	6,854,818
36	消耗什器備品費	17,135,532	6,173,192	10,962,340
37	保険料	2,399,850	2,456,010	△ 56,160
38	修繕費	97,698,609	22,968,565	74,730,044
39	旅費交通費	423,330	349,020	74,310
40	通信運搬費	14,115,061	14,151,292	△ 36,231
41	光熱水料費	49,331,350	40,407,122	8,924,228
42	燃料費	19,689,730	20,979,692	△ 1,289,962
43	支払手数料	111,214,439	102,714,015	8,500,424
44	会議費	280	0	280
45	委託費	732,388,389	703,160,293	29,228,096
46	代行業料	2,389,855,665	2,264,692,053	125,163,612
47	広告宣伝費	477,000	447,500	29,500
48	印刷製本費	20,453,711	18,369,354	2,084,357
49	諸謝金	264,000	264,000	0
50	貸借料	27,896,136	29,050,437	△ 1,154,301
51	負担金	1,339,728	562,800	776,928
52	雑費	893,000	982,505	△ 89,505
53	公租公課費	105,880,410	103,420,020	2,460,390
54	支払利息	3,387,131	3,396,097	△ 8,966
55	貸倒損失	971,396	159,743	811,653
56	貸倒引当金繰入	456,980	432,172	24,808
57	減価償却費	142,410,548	151,479,388	△ 9,068,840

	科 目	当 年 度 (a)	前 年 度 (b)	増 減(a)-(b)
58	②管理費	36,841,144	33,774,326	3,066,818
59	役員報酬	7,170,542	7,139,333	31,209
60	給料手当	5,756,476	5,724,464	32,012
61	退職給付費用	160,488	146,879	13,609
62	賞与引当金繰入額	530,849	518,841	12,008
63	法定福利費	2,549,999	2,600,290	△ 50,291
64	福利厚生費	277,469	322,920	△ 45,451
65	消耗品費	441,146	618,137	△ 176,991
66	消耗什器備品費	2,139,940	588,720	1,551,220
67	旅費交通費	406,508	298,218	108,290
68	通信運搬費	902,249	900,115	2,134
69	光熱水料費	480,234	436,730	43,504
70	支払手数料	417,250	442,000	△ 24,750
71	会議費	315,920	156,280	159,640
72	委託費	5,812,266	4,546,958	1,265,308
73	交際費	65,850	10,000	55,850
74	広告宣伝費	0	247,500	△ 247,500
75	印刷製本費	647,242	540,700	106,542
76	諸謝金	2,648,042	2,484,132	163,910
77	貸借料	5,206,981	5,306,128	△ 99,147
78	負担金	410,000	137,300	272,700
79	雑費	52,009	42,195	9,814
80	租公課費	65,632	58,648	6,984
81	支払利息	6,579	6,547	32
82	減価償却費	377,473	501,291	△ 123,818
83	経常費用計	7,264,482,841	6,847,535,105	416,947,736
84	評価損益等調整前当期経常増減額	285,778,043	391,089,138	△ 105,311,095
85	特定資産評価損益	0	0	0
86	評価損益等計	0	0	0
87	当期経常増減額	285,778,043	391,089,138	△ 105,311,095
88	2. 経常外増減の部			
89	(1) 経常外収益			
90	固定資産受贈益	7,676,532	86,189,751	△ 78,513,219
91	経常外収益計	7,676,532	86,189,751	△ 78,513,219
92	(2) 経常外費用			
93	固定資産除却損	7,702,871	797,987	6,904,884
94	経常外費用計	7,702,871	797,987	6,904,884
95	当期経常外増減額	△ 26,339	85,391,764	△ 85,418,103
96	税引前当期一般正味財産増減額	285,751,704	476,480,902	△ 190,729,198
97	法人税、住民税及び事業税	108,402,400	117,855,200	△ 9,452,800
98	法人税等調整額	△ 12,481,711	△ 6,828,138	△ 5,653,573
99	当期一般正味財産増減額	189,831,015	365,453,840	△ 175,622,825
100	一般正味財産期首残高	2,409,699,183	2,044,245,343	365,453,840
101	一般正味財産期末残高	2,599,530,198	2,409,699,183	189,831,015
102	II 指定正味財産増減の部			
103	一般正味財産への振替額	0	0	0
104	当期指定正味財産増減額	0	0	0
105	指定正味財産期首残高	30,000,000	30,000,000	0
106	指定正味財産期末残高	30,000,000	30,000,000	0
107	III 正味財産期末残高	2,629,530,198	2,439,699,183	189,831,015